

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	音楽劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきざいだんほうじんにほんおぺらしんこうかい			
	制作団体名	公益財団法人日本オペラ振興会			
	代表者職・氏名	理事長 分林 保弘		団体ウェブサイトURL	
				https://www.jof.or.jp/	
	制作団体所在地	〒	151-0053	最寄駅(バス停)	代々木駅
		東京都渋谷区代々木1丁目25番5号BIZ SMART代々木415			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな	ふじわらかげきだん			
	公演団体名	藤原歌劇団			
	代表者職・氏名	総監督 郡 愛子		団体ウェブサイトURL	
				https://www.jof.or.jp/	
	公演団体所在地	〒	151-0053	最寄駅(バス停)	代々木駅
		東京都渋谷区代々木1丁目25番5号BIZ SMART代々木415			
	制作団体 設立年月	昭和56年3月			
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
		理事長 分林保弘 副理事長 二木英実 常務理事 郡愛子、林直樹 外理事14名 評議員 13名 職員11名		○団体構成員(公演事業2部門) 藤原歌劇団(正団員468名、準団員553名) 日本オペラ協会(正会員199名、準会員137名) 両団体所属(244名) 計1,162名	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名		藤川 桐人
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者		久保利佳
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号	
		fujikawa@jof.jp		0448195505	

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	公益財団法人日本オペラ振興会は、藤原歌劇団と日本オペラ協会の統合合併により、昭和56年文部大臣の設立許可を受け「藤原歌劇団」「日本オペラ協会」の名称は法人組織内の公演事業部門として存続させている。藤原歌劇団は、昭和9年6月に故藤原義江により創立され、我が国初の本格的オペラ団体として今日まで公演活動を継続。日本初演を含む80作を超えるオペラをこれまでに上演しており、特にイタリアオペラを主軸とする公演路線は広く親しまれている。 平成24年4月より公益財団法人日本オペラ振興会として認可され、平成27年4月より折江忠道が第4代総監督に就任している。令和7年4月より郡愛子が日本オペラ協会及び藤若歌劇の総監督に就任。年間3～4本の本公演を実施しており、令和2年度はコロナ禍において初のオペラ公演となる「カルメン」を8月に上演したほか、年明け1月には「フィガロの結婚」「ラ・ボエーム」、翌2月には沖縄を舞台とした「キジムナー時を翔ける」を上演し、いずれも好評を博した。令和3年4月には財団設立40周年記念として藤原歌劇団・日本オペラ協会合同公演池辺晋一郎「魅惑の美女はデスゴッデス！（死神）改題」プッチーニ「ジャンニ・スキッキ」、6月プッチーニ「蝶々夫人」9月ベッリーニ「清教徒」1月ヴェルディ「イル・トロヴァトーレ」2月伊藤康英「ミスター・シンデレラ」、令和4年には4月ヴォルフ＝フェッラーリ「イル・カンピエッロ」6月モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」11月新作「咲く」1月プッチーニ「トスカ」2月三木稔「源氏物語」を上演、令和5年はドニゼッティ「劇場のわがままな歌手達」ヴェルティ「二人のフォスカリ」グノー「ファウスト」渡辺俊幸新作「ニングル」令和6年はロッシーニ「ラ・チェネレントラ」ドニゼッティ「ピーア・デ・トロメイ」ヴェルディ「ファルスタッフ」三木稔「静と義経」と上演を続けている。芸術選奨文部大臣賞、モービル音楽賞、ジロー・オペラ賞、三菱UFJ信託音楽賞等受賞多数。
	学校等における公演実績	学校等における 公演実績 学校等における公演実績 平成12年～平成23年文化庁学校公演オペラ「カルメン」 129公演 平成24年～平成26年文化庁学校公演オペラ「魔笛」 37公演 平成25年6月 潤徳女子高校・中学校 藤原歌劇団合唱コンサート 平成28年5月 昭和女子大学鑑賞公演オペラ「椿姫」 平成28年7月 日本女子大学附属高等学校鑑賞教室「カルメン」ハイライト 等 平成29年6月 潤徳女子高校藤原歌劇団合唱コンサート 平成30年11～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 18公演 令和元年11～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 13公演 令和2年10～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 5公演 令和3年5月 昭和女子大学鑑賞公演オペラ「蝶々夫人」 令和3年12～令和4年1月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 6公演 令和4年11月～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 6公演 令和5年2月 青森県十和田市立南小学校ほか 藤原歌劇団合唱部コンサート 8公演 令和5年10月～11月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 7公演 令和6年9月～10月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 11公演 令和7年10月～12月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 7公演
	特別支援学校等における公演実績	特別支援学校における公演実績 平成25年 9月 栃木県立足利中高特別支援学校（文化庁次代を担う子供の舞台芸術体験事業） 平成30年 11月 千葉県立野田特別支援学校（文化芸術による子供の育成事業）

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=2h4Kh6ec2d4&t=756s	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	無し
		PW:	無し

一般区分・特別エリア区分共通										
No.2(実演芸術)										
別添		なし								
【公演団体名 藤原歌劇団 】										
本公演・ワークショップの内容	対象		小学生(低学年)		○		小学生(中学年)		○	
			小学生(高学年)		○		中学生		○	
	企画名		オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやって来た！」 全1幕 日本語上演							
	企画のねらい		オペラ「助けて、助けて、宇宙人がやって来た！」今から60年ほど前、アメリカのオペラ作曲家ジャン・カルロ・メノッティがクリスマスに子供向けのオペラとして作曲した作品です。宇宙人が地球に襲来しスクールバスを襲ってきますが、宇宙人の弱点がアコースティックの音楽と知った学校の先生達が音楽の先生を先頭に楽器を手にして子供たちを救いに行く、という物語は学校巡回公演にぴったりの題材です。ダンサーによる宇宙人のダンスシーン、宇宙人を撃退するため全校で校歌を歌うシーン、校長先生が身をもって子供を救おうとする場面など見どころ満載です。スリルある展開とオペラ歌手のアコースティックの歌声は音楽の力を体感することができ、子供達の心の涵養を育むことができると信じています。							
	演目概要・演目選択理由		オペラ「助けて、助けて、宇宙人がやって来た！」 ジャン・カルロ・メノッティ(Gian Carlo Menotti)作曲 全1幕日本語上演 ～あらすじ～ 謎の宇宙人、グロボリンクスが地球へやって来た！ 子ども達は春休みが終わり、スクールバスで学校へ向かう途中、突然バスが故障し、止まってしまう。そこへ、グロボリンクスが現れ、子ども達は大騒ぎ！運転手のトニーはバス警笛を鳴らしエイリアンを追っ払う。トニーは、グロボリンクスが“アコースティックの音楽”に弱いことを知り、子ども達に楽器を持っているか尋ねる。そんな中、一人だけヴァイオリンを持っていたエミリーは、「私がゆくわ！」と学校へ助けを求めに向かう…。一方学校では、子ども達が来ない、と校長のストーン先生は心配でたまらない。音楽のユタポーバ先生は、子ども達が春休みに楽器を持って帰らなかったとストーン先生に嘆いている。そこに、グロボリンクスが現れ校長先生が襲われてしまう。先生達は楽器を鳴らし何とかグロボリンクスを撃退する。先生達はそれぞれ楽器を持ち、帰ってこない子どもたちを迎えに行く。さて、子ども達は、先生達は、エミリーは、一体どうになってしまうのか？当団はアメリカの作曲家ジャン・カルロ・メノッティとの縁が非常に深く、1974年にはメノッティ本人を我が国へ招聘し、彼自身の演出により「領事」「電話」「霊媒」といった演目を、藤原歌劇団の本公演で上演し、成果を挙げて参りました。 「助けて、助けて宇宙人がやってきた」は1985年から2年間「文化庁青少年芸術劇場公演に」採択され、地方10か所以上で上演し、多くの学生・児童に鑑賞して頂きました。その公演は、栗國安彦の演出による、ホールでの大規模上演でした。 本公演は、藤原歌劇団が協力し、多数の所属歌手が出演した2017年11月東京文化会館主催公演のプロダクションにより、平成30年度以降「文化芸術による子供の育成事業」において学校公演を続けて参りました。 この作品は、学校が劇の舞台であり子供たちに臨場感のある題材であることから「文化芸術による子供の育成事業」に相応しい演目だと確信しております。							
	児童・生徒の参加または体験の形態		学校が舞台となっているこの作品では、実際の生徒や宇宙人に扮して、プロのオペラ歌手やダンサーと共演することができます。 ー児童、生徒の参加内容はー ・合唱①: みんなで校歌を歌って参加(全校) ・合唱②: 最期の場面、学校の先生たちと一緒にエミリーを救いに行く生徒役の子ども達(10人～20人程度) ・ダンス①: 宇宙人役(宇宙人襲来・8人程度) ・ダンス②: 宇宙人役(宇宙人喜びの踊り・8人程度) ・ダンス③: 宇宙人役(エミリーと友達になりたい宇宙人・8人程度) ワークショップにて、歌手とピアニストによる歌の練習、振り付けによるダンスの練習や動きの練習、演出助手による演技の稽古を実施します。本番では、キャストと一緒に出演して頂きます。							
児童・生徒の参加可能人数		本公演		参加・体験人数目安		30人～40人				
				鑑賞人数目安		50人～800人				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付		オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやって来た！」 全1幕 日本語上演 作曲／台本:ジャン・カルロ・メノッティ(Gian Carlo Menotti) 演出:岩田達宗 美術:島次郎 衣裳:増田恵美 照明:稲葉直人 振付:鷺田実土里 音響:寺部和貴								
		公演時間		100		分				
出演者		指揮:仲田淳也/中橋健太郎左衛門 エミリー:中畑有美子/山邊聖美 音楽の先生:別府美沙子/山口佳子 校長先生:押川浩士/龍進一郎 バスの運転手:岡昭宏/大石洋史 学校の門番:山内政幸/黄木透 算数の先生:佐藤みほ/二瓶純子 国語の先生:和下田大典/市川有一郎				理科の先生:岡山肇/杉尾真吾 アナウンサー:柴山秀明 生徒:安藤千尋/伊藤香織/加藤美帆/芝野遥香/網永悠里 グロボリンクス(ダンサー):鷺田実土里/上原彩弥/森田真希 ピアノ:1名 ヴァイオリン:1名 計20人				

	演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	演出/岩田達宗：劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団ザ・スタッフに参加しオペラ舞台製作に係る。以降演出家として藤原歌劇団、新国立劇場、日生劇場、びわ湖ホール、日本オペラ協会等で活躍中。独創的で奇抜なアイディアによる高次元の舞台創りは常に話題となり、現在日本を代表するオペラ演出家の一人として演出活動を展開している。 校長先生/押川浩士：藤原歌劇団のプリモバリトン歌手の一人。当団では「セビリアの理髪師」「カルメン」「ランスへの旅」「ラ・チェネントラ」「ドン・ジョヴァンニ」「トスカ」「二人のフォスカリ」等で主役歌手として活躍。新国立劇場にも「パルジファルふじぎな聖杯」でデビュー。 音楽の先生/別府美沙子：東京音大卒業後、ミラノに留学し「リゴレット」のジルダ、「ラ・ボエーム」のムゼッタ、「愛の妙薬」のアディーナ、「仮面舞踏会」のオスカル等に出演。藤原歌劇団には「ジャンニススキキ」のラウレッタでデビュー。今後の活躍が期待される若きプリマドンナ。							
	本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者：20名 スタッフ：18名 合 計：38名		運搬		積載量：4t 車 長：10m 台 数：2台			
	本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間			時間程度
		到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
		8:30	9時～12時		13時30分-15時10分	10分	15時15分-16時30分	17時	
		※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
	本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められま せん)。	6月	7月	8月	9月				
		20日	10日						
		10月	11月	12月	1月				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計		30日				

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し



著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当あり	該当コンテンツ名	オペラ「助けて、助けて、宇宙人がやって来た！」
	該当事項がある場合	権利者名	全音楽譜出版社	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通 No.3-①(実演芸術)				
別添		なし		
【公演団体名 藤原歌劇団 】				
ワークショップの内容	ワークショップのねらい	オペラ最後の場面で10人～20人の子ども達役は歌いながら演技をする、いわゆるオペラの体験を実際に体得できるよう繰り返し練習して覚えていただきます。 宇宙人のグロボリンクス役は宇宙人の特殊な衣裳を着てダンスをします。ダンスは3か所あり振付の先生からそれぞれ躍動感のあるダンスの指導を受けます。 全体としては一つのオペラ作品を創り上げる過程を感じることができるよう、楽しみながら歌や演技を体得できるよう丁寧に指導します。また、ダンスの振付ビデオや歌唱シーンの楽譜、映像等を事前に送付し、ワークショップでの指導を経て本番までに体得できるようにすすめていきます。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20人～40人
	ワークショップ実施形態及び内容	まず、オペラとは何か？この作品はどのような作品なのかを10分程度説明いたします。そのうえでダンスと合唱に分かれてそれぞれの指導を行います。 児童、生徒の参加内容は、①学校の生徒役の子ども達10人～20人②宇宙人グロボリンクス役8人程度の子ども達が出演します。 ①学校の生徒役の子ども達は先生達と一緒にスクールバスの子供達を助けに行くところで参加しますが、先ず歌手、ピアニストによる歌唱の練習を30分程度行い、続いて演出助手による演技の立ち稽古を実施します。子供たちの歌や演技がグロボリンクスを退治できるという気持ちを込めて繰り返し練習し本番に備えます。 ②宇宙人グロボリンクス役は宇宙人登場シーンで演技者として出演をします。ダンスは3か所あり、振り付けの先生にそれぞれ動きを付けてもらいながら、宇宙人の動きを身に付け、重要な演技を体得してゆきます。 その他に宇宙人が襲来したシーンで生の音楽が宇宙人が苦手だと知り、全校生徒で学校の校歌を歌って宇宙人を追い払おうとします。そのシーンの説明もワークショップで行います。 ワークショップの最後にはそれぞれチームごとに合唱とダンスの成果発表をして、本番に備えていただきます。また制作担当者は体育館の形状や電源、搬入搬出経路、控室の確認、当日の確認も並行して行います。		
その他ワークショップに関する特記事項等	生徒役の子どもたちが歌うメロディの音楽は現代的で親しみやすいとは言えませんが、ワークショップでは繰り返し練習して身に付けるように努めます。また、歌手による発声指導をして元気よく宇宙人を追い払う音楽を創れるように指導致します。 出演する生徒の参加数については学校の事情の即してチョイスできるように対応致します。 また、舞台がどのように創られているかを舞台写真を見せながら説明し、必要な舞台用語についても解説致します。			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 藤原歌劇団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

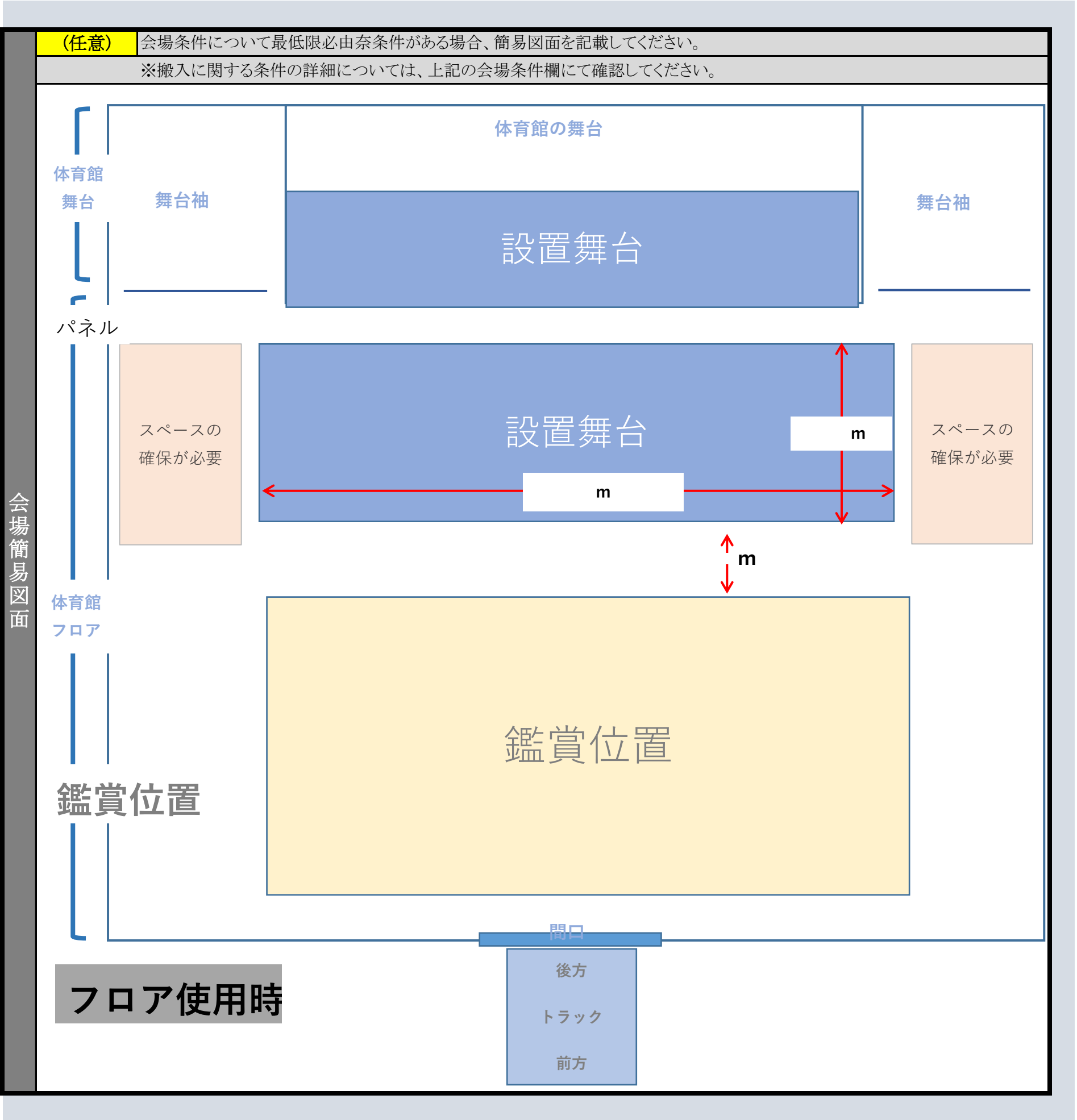
会場条件	(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。							
	会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量			100 A以上	
	舞台設置面積	間口	20 m		奥行	8 m			
		高さ	300 m						
	舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応			不可	
	搬入間口の広さ	幅	180 m		高さ	180 m			
	遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否			必ず必要		
	ピアノの使用について	あれば必要に応じて使用する		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			あり		
				ピアノを使用しない場合の移動の要否			不要		
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			20 m以内		
	搬入車両の種類	中型トラック		台数	2 台				
	搬入車両の大きさ	車幅	2.49 m		車長	8.78 m			
	備考	体育館の仕様について、詳細を見取り図にまとめましたのでご参照ください。							

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。					
	会場図面の提出要否		要				
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		搬入口及び搬入経路の写真				

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	120	午後	音楽稽古、振付稽古及び立ち稽	授業中に共演者は稽古をいたします。
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	60	午前	振付稽古及び立ち稽古	授業中に共演者は稽古をいたします。
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	学校周辺道路について、搬入用の中型トラックは通行可能でしょうか？	
	2	地域によっては、前日仕込みが必要な場合がありますが、ご対応は可能でしょうか？	
	3		



		一般区分・特別エリア区分共通	
		No.5(共通)	
別添		なし	
		【公演団体名	藤原歌劇団
本事業への応募理由等	本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】	
		<p>藤原歌劇団では創立以来90年に亘りオペラ上演を行ってきましたが、特に戦後からは学生対象の鑑賞公演も数多く実施しており子供たちに舞台の楽しさを提供してきました。</p> <p>その中でオペラ歌手の生の歌声の魅力、オペラにおける合唱の歌唱力演技力の魅力を充分に体感していただけるよう工夫を重ねており、特に2000年から開始した学校の体育館での生徒参加型公演では歌手達(ソリスト、合唱含め)スタッフが皆で子供たちと一体となって公演を創り上げる貴重な経験を積むことができました。</p> <p>この作品を選出した理由として現代的なテーマであり学校が物語の舞台であること、音楽が地球を救うというテーマであること、現代音楽でありながら感動的な美しい音楽が随所に現れ子ども達にきっと伝わるであろう事など、学校公演に適していると考えております。</p> <p>生徒たちに『夢・希望・感動』を伝えたいと考えております。</p> <p>昨年度も先生、生徒さんたちから大好評をいただいております、引き続き、是非今事業の音楽劇の作品に加えていただきたく切に希います。</p>	
	【上記の実現に向けて、実施の工夫】		
	<p>公演の実施にあたり、必要事項を記載した参加校用のマニュアル及び音源/映像資料を作成。学校担当者に事前に配布して、公演概要や必要事項を予めご理解頂けるよう工夫する。</p> <p>尚且つ学校と連絡を密にとりワークショップ、本番を迎えるよう努力します。</p> <p>藤原歌劇団では声を最大限生かすよう鍛錬を続けております。声のもつ力と美しさそして表現力を最大限に活かし、声による感動をお届けし、夢と希望つなげられるよう努めます。</p>		
	事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	【学校との連絡調整について】	
		<p>藤原歌劇団はこの形での学校巡回公演はすでに25年間に亘って続けているが学校の状況は年々変化している、と感じている。授業時間を削ることが難しく、登校・下校時間も厳しく決まっており、クラス毎でないと動きが取れず、朝・夕方の先生方は多忙を極めている。</p> <p>そのようななかで、学校の時間割の制約やご要望にいかに応えながら実施するか、こちらも柔軟に対応せねば、と痛感する。</p> <p>藤原歌劇団は学校に寄り添った準備をし、丁寧に子供達、先生方との信頼と交流を大切にす。上演ができるように、引き続き努力を続ける。</p>	
【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】			
<p>ワークショップ1回と当日の練習での生徒の参加となるため事前に参加部分の練習用DVDを作成して事前学習に役立てて頂く。</p> <p>終演後指揮者、ソリストは生徒代表や出演した生徒と交流会を行い、公演や作品について感想を述べあう機会を持つこととします。</p> <p>(ただし各校の意思を尊重し、希望されない場合には実施を見送ります。)</p>			
【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】			
<p>可能でしたら、生徒さん及び鑑賞いただいた先生及びご父兄から感想分等を頂けると嬉しいです。</p> <p>また音楽授業において本公演で聞いた声のイメージをもって歌唱して頂きたいです。</p> <p>そのほかに国語授業での朗読、各教科での発表時に声を出す場合にも声の出し方を意識していただき、声の持つ魅力を継続的に活かして頂けると嬉しいです。</p>			